令和7年度決算を認定！

９月定例会において提案された令和７年度各会計決算は、９月２日・３日の２日間にわたり議員全員で構成する決算特別委員会において審査され、９月３日の本会議で全会計とも認定されました。

（単位：千円）

会 計 名	歳入総額	歳出総額	差 引
一 般 会 計	11,939,918	11,657,256	282,662
国民健康保険事業特別会計	1,987,241	1,974,071	13,170
後期高齢者医療特別会計	1,012,144	999,980	12,164
介護保険特別会計	2,460,242	2,456,833	3,409
下水道事業会計	957,396	1,122,516	△165,120
合 計	18,356,941	18,210,656	146,285

■決算審査Q＆A

ふるさと納税事務事業

8,968 万6 千円



▲ふるさと納税を活用した町民夏まつり

Q ふるさと納税のうち、企業版ふるさと納税の税額を伸ばす取り組みは行っているか。

A 今年度、企業とのネットワークを持つ専門事業者と連携するマッチング支援業務を導入し納税額の増強に取り組んでいる。

Q 返礼品のない企業版ふるさと納税へのメリットはあるのか。

A 寄付(納税)額の９割に税制上の損金算入や税額控除等が認められている。本町では寄付された企業の名称、寄付額等をホームページに掲載するとともに、企業のホームページにリンクできるようにしている。また、100万円以上の寄付には、感謝状の贈呈と町広報紙への掲載を実施している。

定住交流促進事業

（地域おこし協力隊）

78 万9 千円



▲地域おこし協力隊に任命されたルマヌご夫妻

Q 都市住民を地域協力隊員として採用し、地域ブランドの開発、農林水産業や地場産業への従事、住民支援などの地域協力活動を行ってもらう地域おこし協力隊事業。今年度の取り組みは。

A 筆の里工房創作館内に開設するカフェを運営する隊員を募集した。今後は、本町が文化芸術の力で地域を盛り上げるために立ち上げたプロやアマチュアを問わず参加できる人と人をつなぐコミュニティであるクマノ・クリエイティブ・パレット（ＫＣＰ）とも連携し、フランス文化に触れる講座や食のワークショップなども計画している。

Q 任期は何年か。また、その後は。

A 任期は最長３年間。その後も町内に定住し、引き続きカフェを運営していただくよう期待している。

一般会計 116億5,725万円の使い道と成果は？

防犯対策事業

（防犯カメラ等設置補助金）

944 万7 千円



◀設置されたインターフォン

Q 令和７年度第一次募集の際は申請開始初日で予算額に達するという状況であったが、令和８年度の執行状況は。

A ８月末時点で防犯カメラ30件、録画機能付きインターフォン56件の計86件の申請がある。予算額300万円に対し執行額218万円である。

Q 令和９年度も事業継続するのか。

A 今年度の状況を見て検討する。

介護保険事業

（保険給付費）

22 億7,462 万9 千円



Q 65歳以上の第１号被保険者数は減少傾向であるにもかかわらず、介護認定者数、保険給付費が増大している理由は。

A 介護リスクの高い75歳以上の後期高齢者数の比率が上昇しているためである。

図書館運営事業

5,183 万9 千円



◀図書館の様子

Q 町立図書館の過去５年間の図書購入費の額は。また、購入先は町内の書店か。

A 平均750万円の図書を東京に本社がある図書館を顧客とする事業者から購入している。

Q 町内の小中学校図書館では町内の書店から図書を購入している。なぜ町立図書館では町内の書店で購入しないのか。

A 町内の書店では、毎週約50冊の大量購入に対応できないこと。また、購入業者ではバーコードラベル、背ラベル、ICタグの貼付、データ書込み等を無料で行ってくれていることがその理由である。

学校給食事業

2 億1,419 万1 千円



◀温かい学校給食

Q 町内の小中学校全校で温かい食缶給食が始まり１年が経過したが、成果と課題は。

A 温かい学校給食は、児童生徒からおおむね好評である。しかし、中学生からご飯の量が少ないという声があったことを確認している。今後、児童生徒、保護者を対象にアンケートを実施し、課題を把握し改善に結び付けたい。